



江戸とは

江戸は東京の旧称である。徳川家康が1603年に征夷大將軍として江戸に幕府を開いた後、政治の中樞として大規模な開発が進められ、1700年代初頭には推定人口100万人という巨大都市へ成長した。

平和な時代

およそ260年もの間続いた江戸時代は、世界史上稀にみる長期間の平和が続いた時代だった。江戸には武士や町人をはじめ、各地から人びとが集い、さまざまな文化活動が盛んに行なわれていた。

東京都

東京都の江戸の歴史・文化の
魅力発信はこちら



EdoTokyo
The Spirit of Tokyo

現在の東京の礎となっている「江戸」は、
当時世界最大規模の人口を有する都市へと発展を遂げ、
そこに暮らす人々の営みから、
有形・無形問わず独自の優れた文化を花開かせました。
東京都では、改めて「江戸」に光を当て、
その奥深い魅力の発信に取り組んでいます。



知ってる？江戸のここがすごい！

環境



もったいない！
江戸のエコ精神！！

着物は何度も反物の状態から仕立て直して着用され、擦り切れてきたら寝間着や、おむつ、雑巾などにし、さらに布がボロボロになればかまどの焚き付けなどにも利用された。燃やして出た灰は買い取られ、農業の肥料や陶器の釉薬などに活用されていた。

教育



世界も驚嘆！
江戸庶民の識字率！！

幕末に日本を訪れた海外の要人たちは、日本人の識字率の高さに驚いた。当時、江戸庶民は、寺子屋に通い「往来物」という教科書を使って勉強に励んだ。識字率の高い江戸庶民の要望に応えるべく洒落本や滑稽本などの多彩なジャンルの娯楽文芸が創作された。



世界の「Sushi」は、
江戸屋台が発祥！

江戸の寿司屋の殆どは、屋台や物売りスタイルだった。屋台のカウンターには大きな木箱の中に握られた寿司が並んでおり、客は好きなネタを選んだ。当時の寿司は現代より2～3倍大きく、ネタも生ではなく、煮たり、酢でしめたりしたものが主流だった。

食



芸術

世界を驚かせた
ジャポニズム



フランスの版画家フェリックス・ブラックモンが、陶磁器の緩衝材として用いられていた『北斎漫画』をたまたま発見。浮世絵の魅力を仲間たちに伝えたことをきっかけとして、「ジャポニズム」と呼ばれる日本美術ブームが、ヨーロッパで始まったといわれている。また、歌川広重の「亀戸梅屋舗」「大はしあたけの夕立」は、フィンセント・ファン・ゴッホが模写したことで知られる。

政策

将軍が
娯楽を提供！

八代将軍吉宗は、隅田川堤等に桜を植樹し、のちに花見場所として開放。それまで上野寛永寺に限られていた花見場所（レクリエーションポイント）を増やした。

